

参加費
無料

第 218 回 河川文化を語る会
「ミャンマーでの沈下橋建設」

講師

NPO法人国際インフラパートナーズ
前理事長 中尾 忠彦

日時：2025 年 11 月 17 日（月）
14：00～16：00 13:30(受付開始)

会場：埼玉県県民健康センター
1F「大会議室 C」

定員：100 名（先着順）



会場案内及び申込詳細は裏面をご覧ください

講師紹介



中尾 忠彦（なかお ただひこ）

<略歴>

NPO 法人国際インフラパートナーズ 前理事長
(2024 年第 26 回日本水大賞国際貢献賞
「開発途上国における沈下橋の建設と技術移転」
受賞)
彩の川研究会会員

申込方法

次のいずれかの方法にてお申込みください。

1. Google フォーム（右の QR コード）
2. E-mail

メールにてお申込みの方は下記を記入して、
【kataru@japanriver.or.jp】までお送りください。

①氏名 ②勤務先 ③職種 ④会員種別（個人会員 / 非会員）

※②と③の記載は任意です。

※ 定員になりしだい締め切らせていただきます。



↑ 申込 QR コードはこちら

問合せ先

公益社団法人 日本河川協会 （担当：志賀・百武）

東京都千代田区麹町 2-6-5 麹町 E.C.K ビル 3F

TEL：03-3238-9771

E-mail：kataru@japanriver.or.jp

講演概要

「流域圏」と言われるように、川は人々を結びつけるものであるが、開発途上国では人々の生活水準向上の妨げになっていることも多い。東南アジアなどでは、乾期であれば歩いて渡れる川も雨期には自動車でも渡れず、命にも関わっている。

住民がミャンマーのイトネ川に架けた橋が2年続けて流され、学童が登校できず困っていると聞いて、ちゃんとした構造物にしないとダメだと、外務省に申請して資金を得て復旧したのが公共事業の専門家で組織している国際インフラパートナーズの沈下橋事業の始まりである。

沈下橋は日本にも以前は多くあって、現在も観光スポットになっているところもあり、埼玉県でも荒川で地元の人に親しまれているが、ミャンマーの事情に合わせて設計に工夫を凝らしている。その結果、どこでも盛大な開通式が挙行されて歓迎され、川に橋を架けることの大切さを感じたものである。

会場マップ

埼玉県県民健康センター

1F「大会議室 C」

さいたま市浦和区仲町 3-5-1

「浦和駅」から徒歩 15 分

「中浦和駅」から徒歩 20 分



【主催】公益社団法人 日本河川協会

【共催】彩の川研究会

【後援】埼玉県



当講演会は、公益財団法人河川財団による
河川基金の助成を受けています